

薪一発 取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を必ず最後までお読みいただき正しく安全にお使いください。取扱説明書は、大切に保管してください。

本製品について

『薪一発』は、特許取得済みの十字型キューブを連結した薪ストーブ用の着火補助具です。各凸部が炉床と薪との間に空間をつくり、空気の流れを確保することで効率的な燃焼を実現します。これにより、薪と薪の間で上昇気流が発生しやすくなり、燃焼がさらに促進します。

薪一発は、特許製品です。特許第 6370306 号



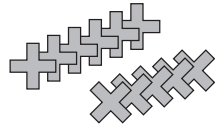
動画で見る
使用方法

使用方法

1 炉床の灰を取り除くか左右に寄せ、本製品を置く周囲に灰がない状態にします。

2 薪の長さに合わせ、端から約 5cm 内側に本製品を左右平行に設置します。その際、ガタつきがないように炉床に設置してください。

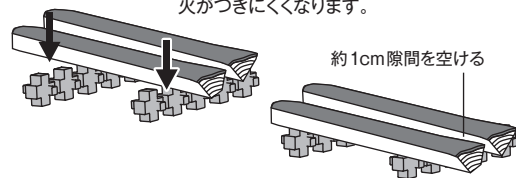
本製品には上下および左右の指定方向はありません。



3 本製品の上に薪を垂直に 2 本並列に置きます。薪の隙間は約 1cm 確保してください。

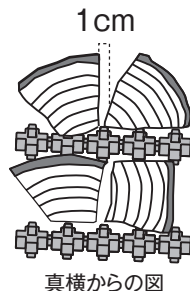
ポイント

- ・隙間が狭すぎても広すぎても着火しにくくなります。
- ・樹皮面は内側や下側に置かないでください。火がつきにくくなります。



4 1 段目の薪の上に、1 段目と同じ位置で本製品を設置します。

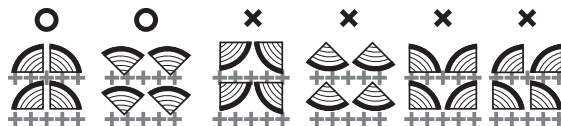
5 2 段目の本製品の上に、薪を垂直に 2 本並列で置きます。隙間は同様に約 1cm 確保してください。



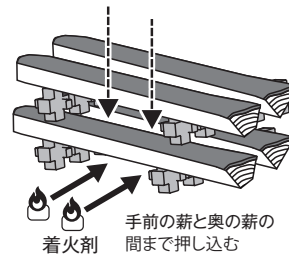
真横からの図

ポイント

樹皮面は内側や下側に置かないでください。初めに樹皮が燃え、炭化して燃焼を妨げます。



6 薪ストーブの給気口を最大にします。市販の固形着火剤を 2 ～ 4 個使用し、本製品近くの内側に置き着火します。その後、薪と薪の間に押し込みます。



気流の流れ
(真横からの図)

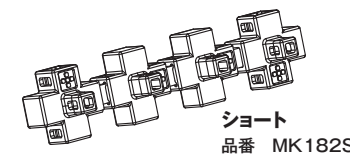
薪と薪の間に炎が立ち上がることで、燃え広がります。



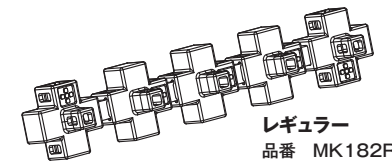
着火剤

ポイント

- ・燃焼により薪の間隔が広がった場合は、ツールで再調整してください。
- ・全体に火が回り燃えきができたら、薪を追加してください。
- ・途中で火が消えた場合は薪同士の間隔を調整し、着火剤を追加してください。
- ・炉内に本製品を入れたままで薪の追加ができます。



ショート
品番 MK182S



レギュラー
品番 MK182R

使用上の注意

- ・使用中、本製品は非常に高温になります。十分ご注意ください。
- ・高温時は炉内から取り出さないでください。取り出す場合は、必ず十分に冷えてから行ってください。
- ・着火・燃焼時は必ず耐熱手袋を着用し、素手で触れないでください。
- ・キューブや角棒に破損や変形が見られる場合は使用を中止してください。
- ・高温状態で水に浸さないでください。破損ややけどの原因になります。
- ・やむを得ず燃焼中に調整・移動を行う場合は、耐熱手袋を着用し、必ずツールを使用してください。
- ・小さなお子様やペットの手の届かない場所で使用・保管してください。
- ・角棒からキューブが外れる場合があります。落下にご注意ください。これは素材のばらつきや熱膨張によるもので、使用上の特性です。

トラブルシューティング

- 薪に火がつかないとき**
- ・薪が乾燥していますか？ 含水率 20% 以下の乾燥した薪を使用してください。
 - ・灰が空気の流入を妨げていませんか？ 灰を取り除き、燃焼空気を確保してください。
 - ・薪の長さや形が不揃いではありませんか？ 同じ長さ・形状の薪を使用してください。

- 火が弱くなるとき**
- ・燃焼が進んで薪の間隔が広がりがすぎたり、狭まりすぎることによって上昇気流がおきづらくなっている可能性があります。薪を移動させ、隙間を適正に調整してください。

仕様

ショート

- 1 本のサイズ：W156×D41×H35mm (4 連結)
- 1 本の重量：342g
- 奥行きが 26cm 未満の炉内に対応

レギュラー

- 1 本のサイズ：W196×D41×H35mm (5 連結)
- 1 本の重量：430g
- 奥行きが 26cm 以上の炉内に対応

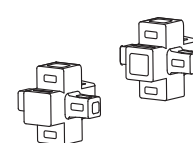
- 内容：4 本セット
- 材質：ステンレス鋼
- 耐熱性：薪ストーブ燃焼温度に対応
- 日本製

お手入れ・保管

- ・使用後は完全に冷えてから炉内から取り出してください。
- ・水分や湿気を避けて保管してください。
- ・長期間使用しない場合は乾いた布で拭き、防錆のために軽く油を塗布してください。

組み立て方 製品が外れた場合は、以下の手順で組み立ててください。

1 両端のキューブの向き
穴のない凸面が外側になるように両端のキューブを配置してください。

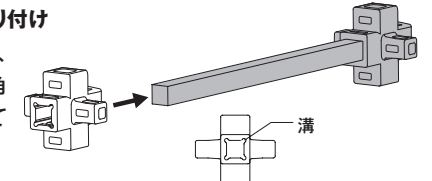


2 角棒の差し込み

図のように角棒を片方の 1 のキューブに差し込みます。入りづらい場合は、ショックレスハンマーを使用してゆっくりと打ち込んでください。

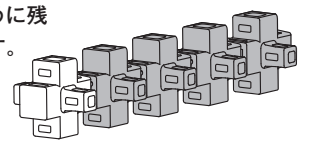


3 中央のキューブの取り付け
中央のキューブは、内部に溝がある四角の穴に角棒を通して組み付けてください。



4 完成

穴のない凸面が外側になるように残りのキューブを差し込み完成です。入りづらい場合は、ショックレスハンマーを使用してゆっくりと打ち込んでください。



※ ストーブの特性に合わせて、設置位置の調整が必要な場合があります。

※ 本製品は薪ストーブ以外にも、焚火台のロストルとして平行に並べて使用できます。



ファイヤーサイド株式会社
長野県駒ヶ根市赤穂 497-871
☎ 0120-46-7877
<https://www.firesidestove.com>

© Fireside Co., Ltd.

掲載されているすべての情報、および写真等の無断転載、複写、複製を禁じます。